

# 全国安全週間を契機とした 安全衛生管理の強化について

~これ以上の死亡災害を発生させないために~

岡谷労働基準監督署  
安全衛生課

# 本日の内容

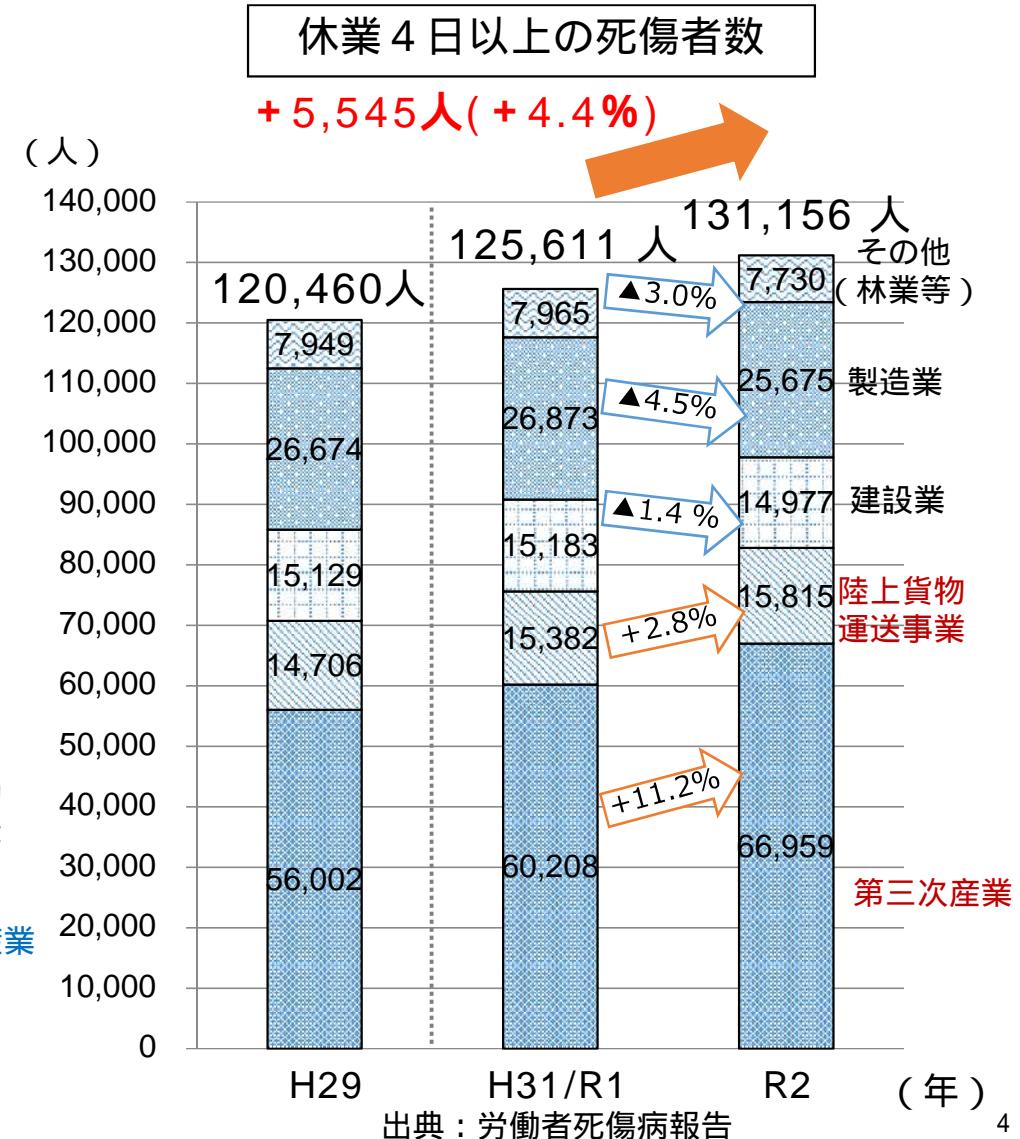
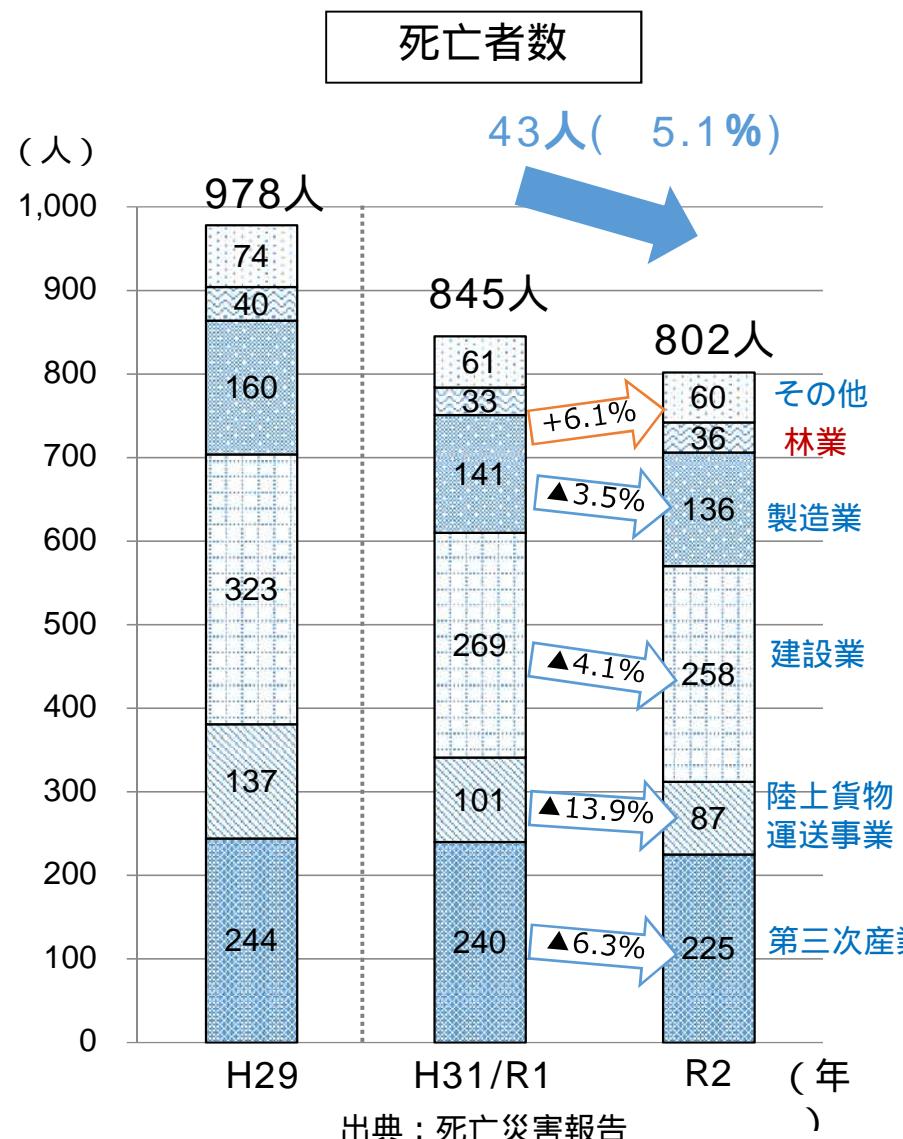
- 1 労働災害発生状況について
- 2 全国安全週間の実施について
- 3 安全衛生管理の強化について  
～職場総点検の実施の着目点～

# 本日の内容

- 1 労働災害発生状況について
- 2 全国安全週間の実施について
- 3 安全衛生管理の強化について  
～職場総点検の実施の着目点～

# 令和2年 全国の業種別労働災害発生状況（確定値）

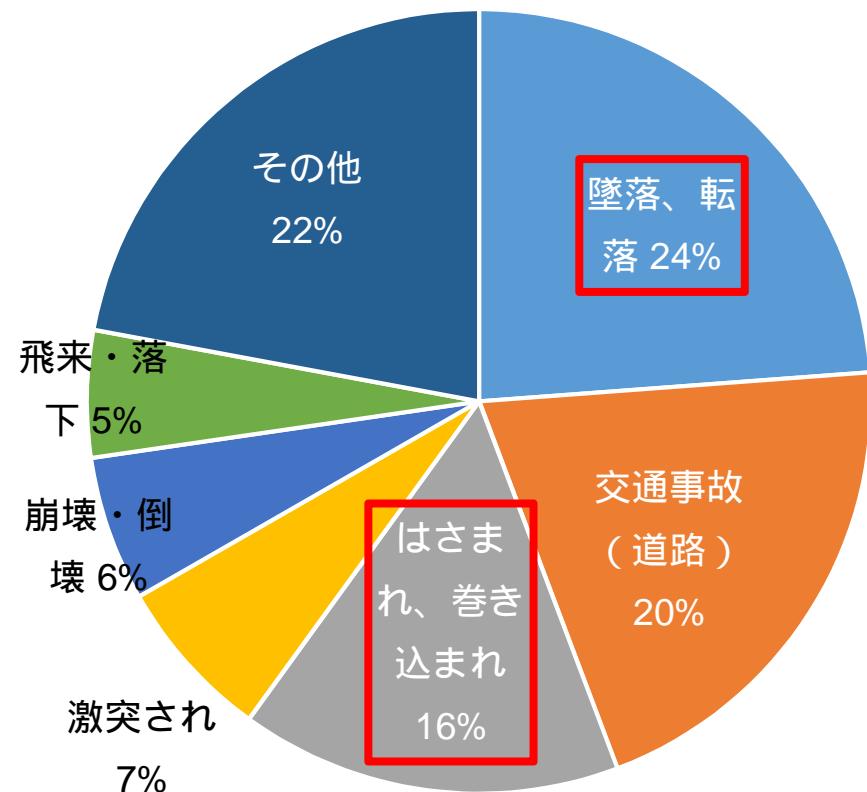
令和2年1月1日から12月31日までに発生した労働災害について、令和3年2月7日までに報告があったものを集計したもの  
第13次労働災害防止計画において、平成29年と比較して令和4年までに死亡者数は15%以上の減少、死傷者数は5%以上の減少を掲げている。



# 令和2年 全国の事故の型別労働災害発生状況（確定値）

死亡者数

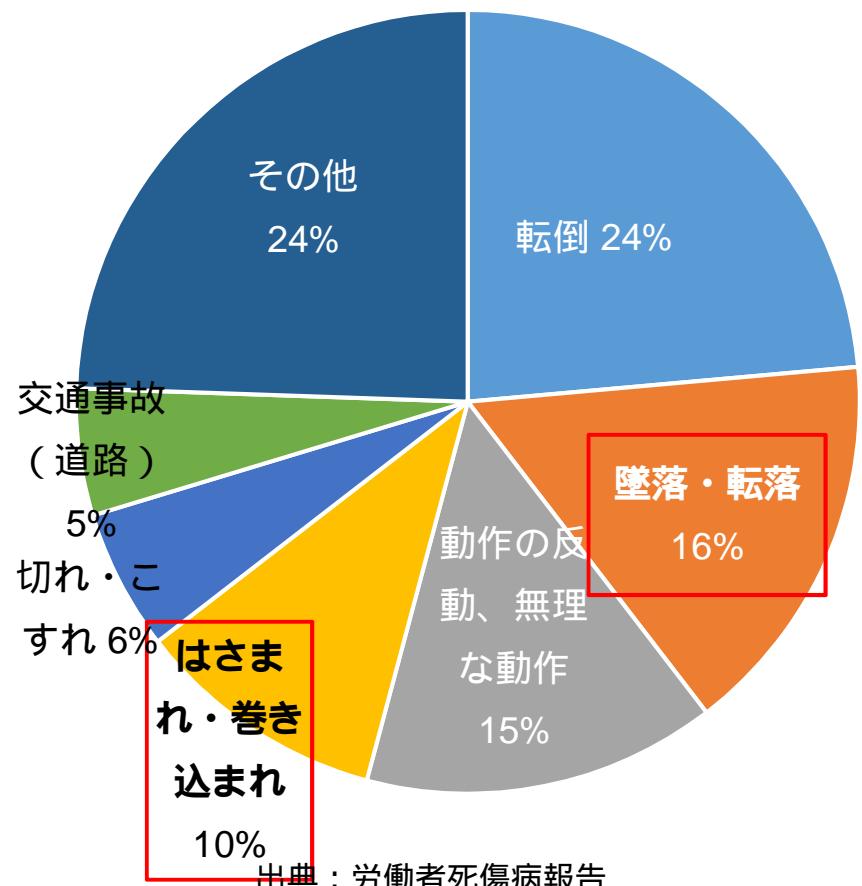
802人（前年比 5.1%）



出典：死亡災害報告

休業4日以上の死傷者数

131,156人（前年比 + 4.4%）

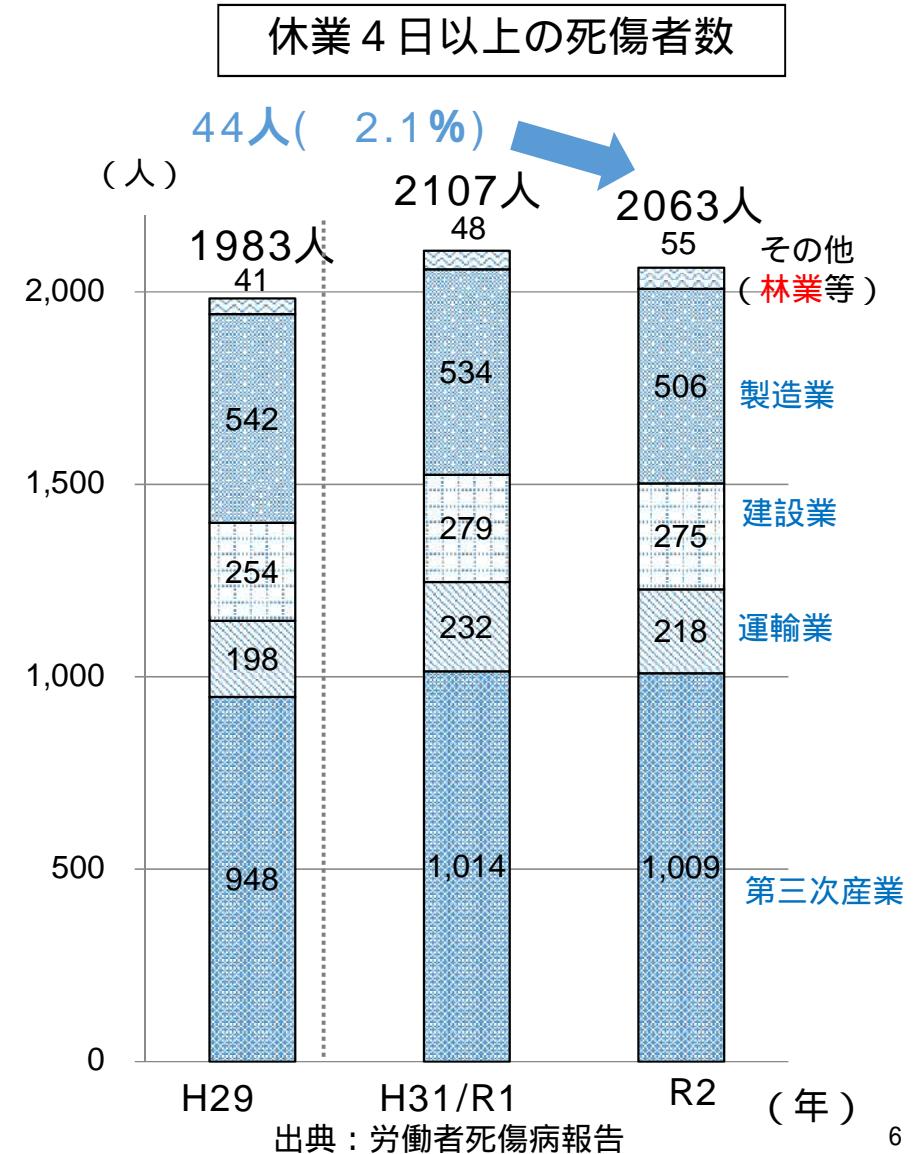
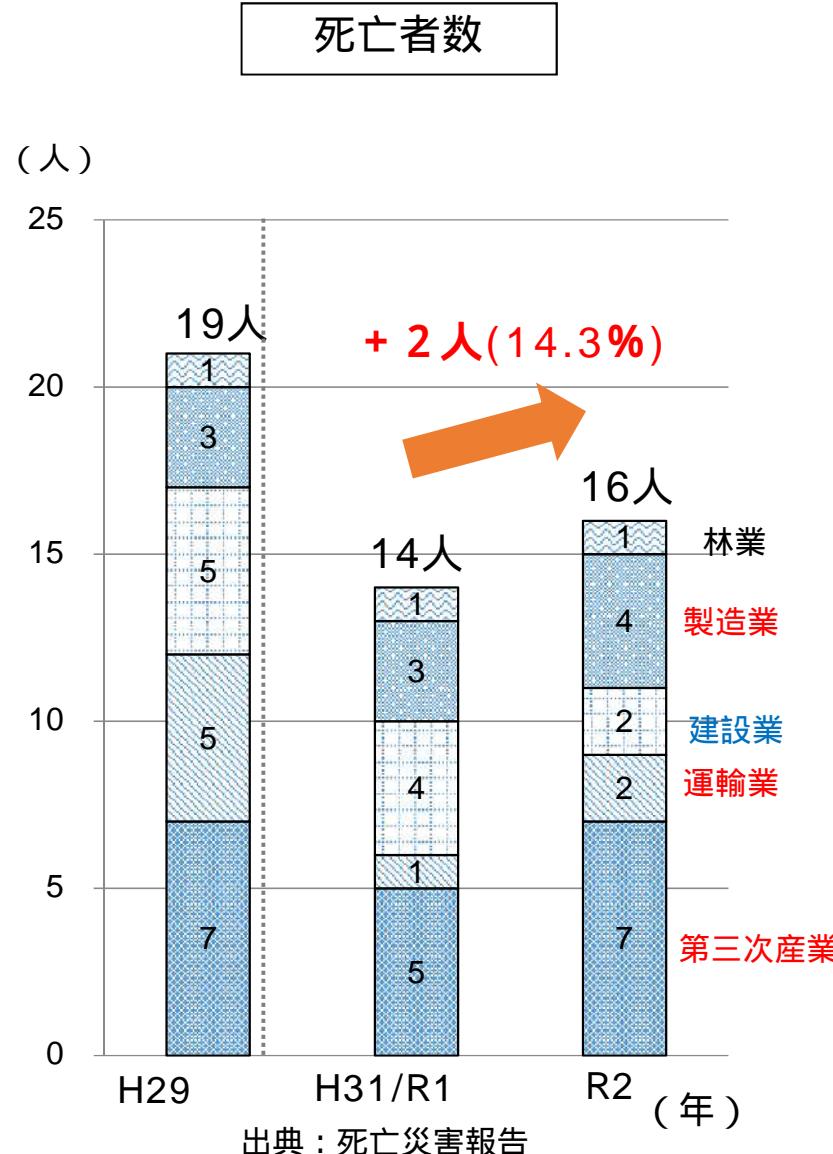


出典：労働者死傷病報告

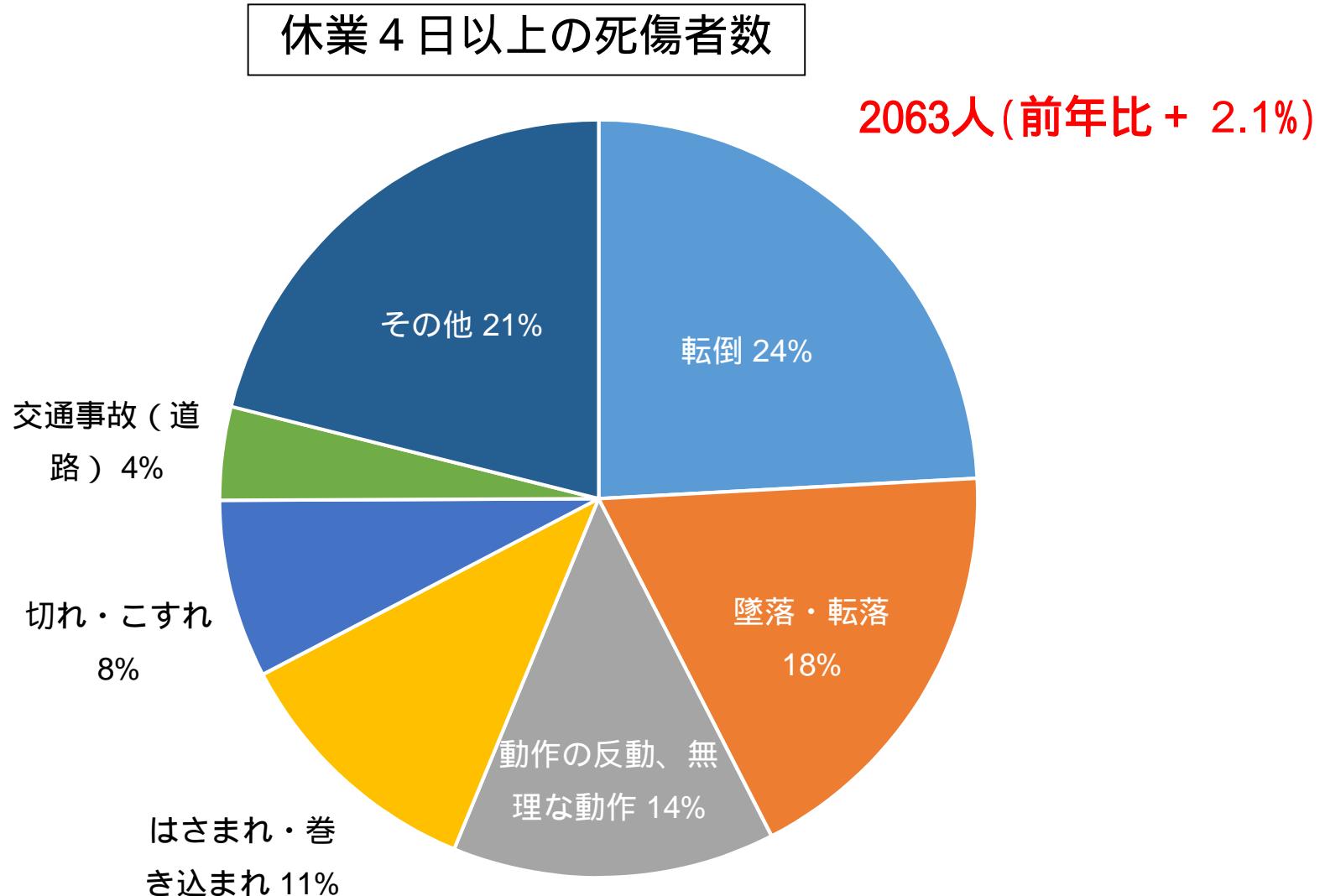
# 令和2年 長野県の業種別労働災害発生状況

令和2年1月1日から12月31日までに発生した労働災害について、令和3年1月末までに集計したもの。

第13次労働災害防止計画において、平成29年と比較して令和4年までに死者数は15%以上の減少、死傷者数は5%以上の減少を掲げている。



## 令和2年 長野県の事故の型別労働災害発生状況（確定値）



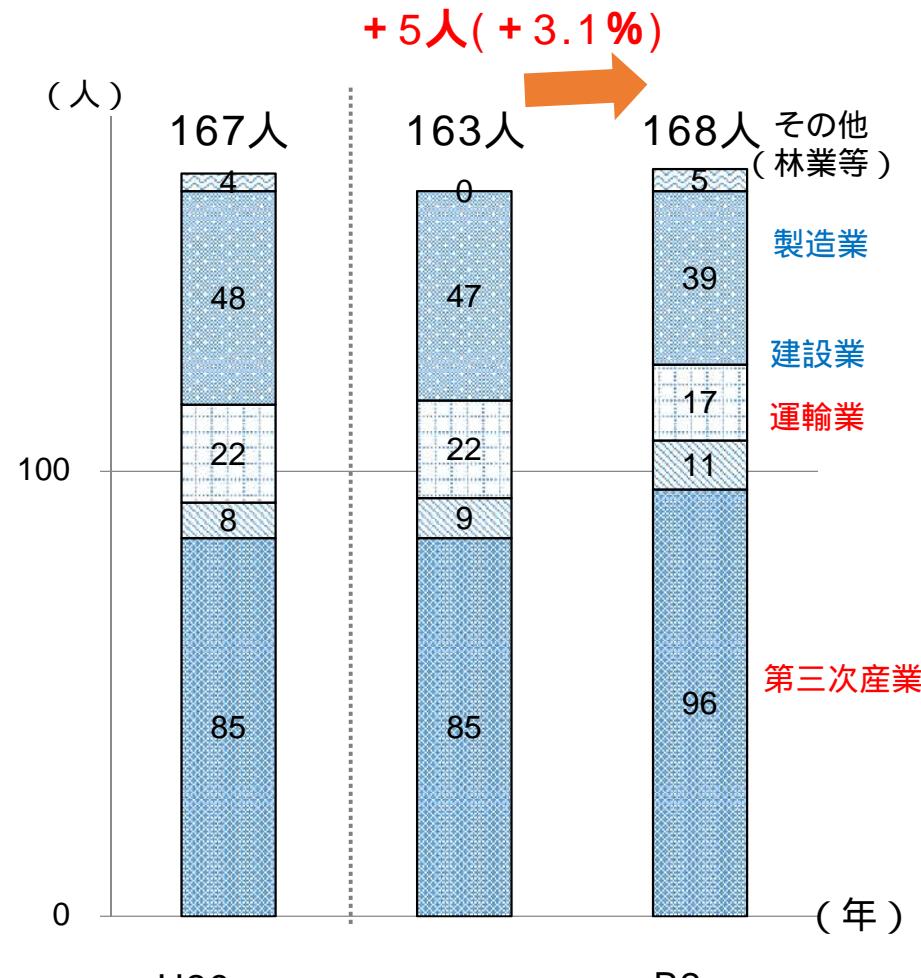
出典：労働者死傷病報告

# 令和 2 年 岡谷署管内の業種別労働災害発生状況

令和 2 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに発生した労働災害について、令和 3 年 1 月末までに集計したもの。

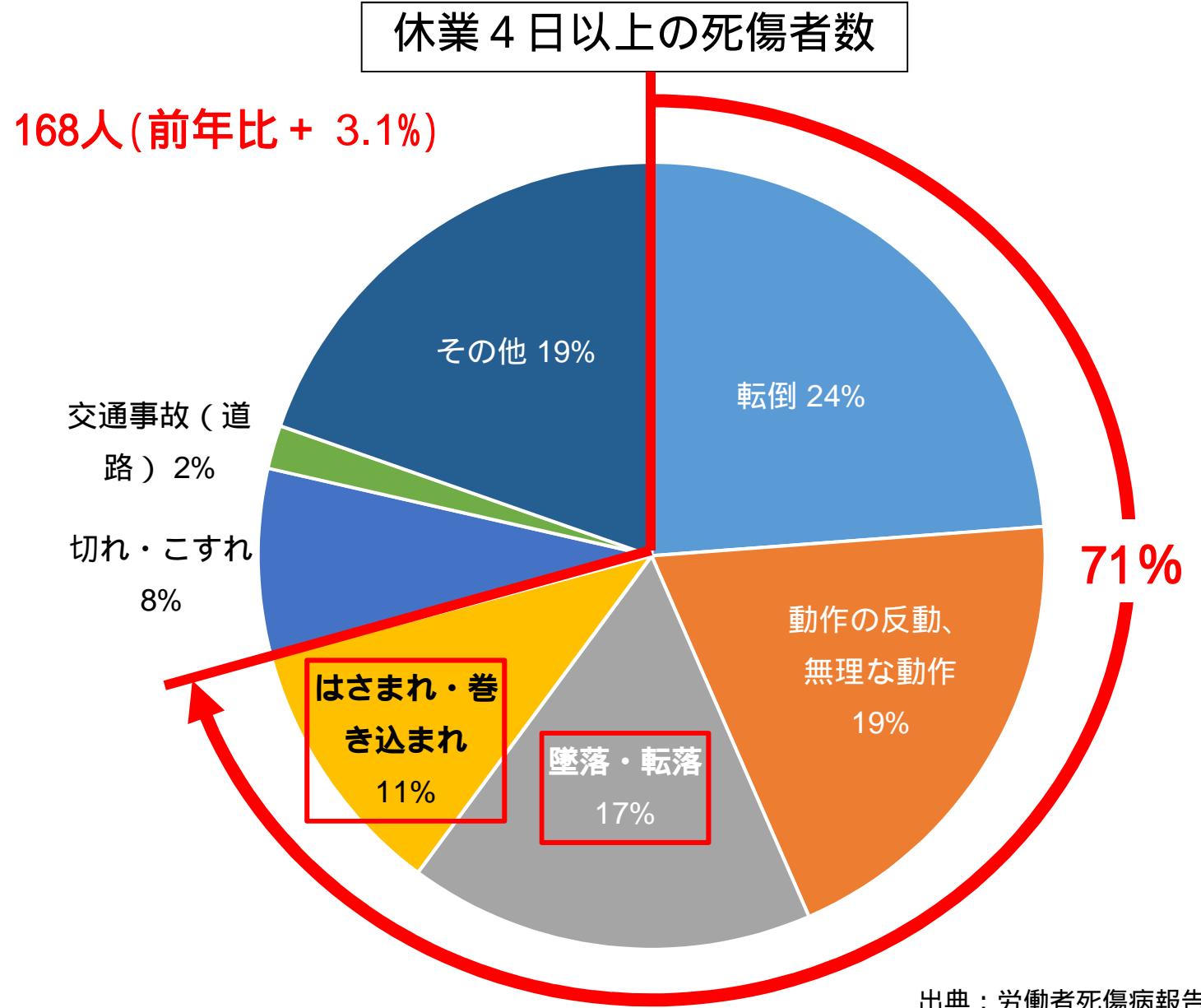
第 13 次労働災害防止計画において、平成 29 年と比較して令和 4 年までに死傷者数を 5 % 以上減少、計画期間内の死者数を前計画期間内の死者の半数以下（3 人）を目標に掲げている。

## 休業 4 日以上の死傷者数



出典：労働者死傷病報告

## 令和 2 年 岡谷署管内の事故の型別労働災害発生状況（確定値）



# 令和3年5月末 長野県内の労働災害発生状況

## 死傷災害（死亡・休業4日以上）

長野県全産業：833人（前年比221人増加（36.1%））

製造業：193人（前年比15人増加（8.4%））

建設業：104人（前年比19人増加（22.4%））

道路貨物運送業：63人（前年比19人増加（43.2%））

林業：23人（前年比4人増加（21.1%））

第三次産業：421人（前年比165人増加（64.5%））

## 死亡者数

長野県全産業：9人（前年比3人増加）

製造業：1人（前年比2人減少）

建設業：3人（前年比3人増加）

道路貨物運送業：4人（前年比4人増加）

林業：0人（前年同数）

第三次産業：1人（前年比1人減少）

# 令和3年5月末 岡谷署管内の労働災害発生状況

## 死傷災害（死亡・休業4日以上）

全産業死傷者数：62人（前年比20人増加（47.6%））

製造業：10人（前年比1人増加（11.1%））

建設業：7人（前年比3人増加（75.0%））

道路貨物運送業：2人（前年同数）

林業：2人（前年比1人減少（33.3%））

第三次産業：38人（前年比18人増加（90.0%））

死亡者数 2人（前年比2人増加）

# 本日の内容

- 1 労働災害発生状況について
- 2 全国安全週間の実施について
- 3 安全衛生管理の強化について  
～職場総点検の実施の着目点～

# 令和3年度 全国安全週間実施要綱

本週間：7月1日から7月7日まで

準備期間：6月1日から6月30日まで

スローガン：

「持続可能な安全管理

未来へつなぐ安全職場」

## **全国安全週間及び準備期間中に実施する事項**

安全大会等での経営トップによる安全への所信表明を通じた関係者の意思の統一及び安全意識の高揚

安全パトロールによる**職場の総点検の実施**

安全旗の掲揚、標語の掲示、講演会等の開催、安全関係資料の配布等の他、ホームページ等を通じた自社の安全活動等の社会への発信

労働者の家族への職場の安全に関する文書の送付、職場見学等の実施による家族の協力の呼びかけ

緊急時の措置に係る必要な訓練の実施

「安全の日」の設定のほか全国安全週間及び準備期間にふさわしい行事の実施

# 継続的に実施する事項

## 安全衛生活動の推進

### ア 安全衛生管理体制の確立

- (ア) 年間を通じた安全衛生計画の策定、安全衛生規程及び安全作業マニュアルの整備
- (イ) 経営トップによる統括管理、安全管理者等の選任
- (ウ) 安全衛生委員会の設置及び労働者の参画を通じた活動の活性化
- (エ) 労働安全衛生マネジメントシステムの導入等によるPDC Aサイクルの確立

### イ 安全衛生教育計画の樹立と効果的な安全衛生教育の実施等

- (ア) 経営トップから第一線の現場労働者までの階層別の安全衛生教育の実施、特に、雇入れ時教育の徹底及び未熟練労働者に対する教育の実施
- (イ) 就業制限業務、作業主任者を選任すべき業務での有資格者の充足
- (ウ) 災害事例、安全作業マニュアルを活用した教育内容の充実
- (エ) 労働者の安全作業マニュアルの遵守状況の確認

## 継続的に実施する事項（続き）

### ウ 自主的な安全衛生活動の促進

- （ア）発生した労働災害の分析及び再発防止対策の徹底
- （イ）職場巡視、4S活動（整理、整頓、清掃、清潔）、KY（危険予知）活動、ヒヤリ・ハット等の日常的な安全活動の充実・活性化

### エ リスクアセスメントの実施

- （ア）リスクアセスメントによる機械設備等の安全化、作業方法の改善
- （イ）SDS（安全データシート）等により把握した危険有害性情報に基づく化学物質のリスクアセスメント及びその結果に基づく措置の推進（「ラベルでアクション」の取組の推進）

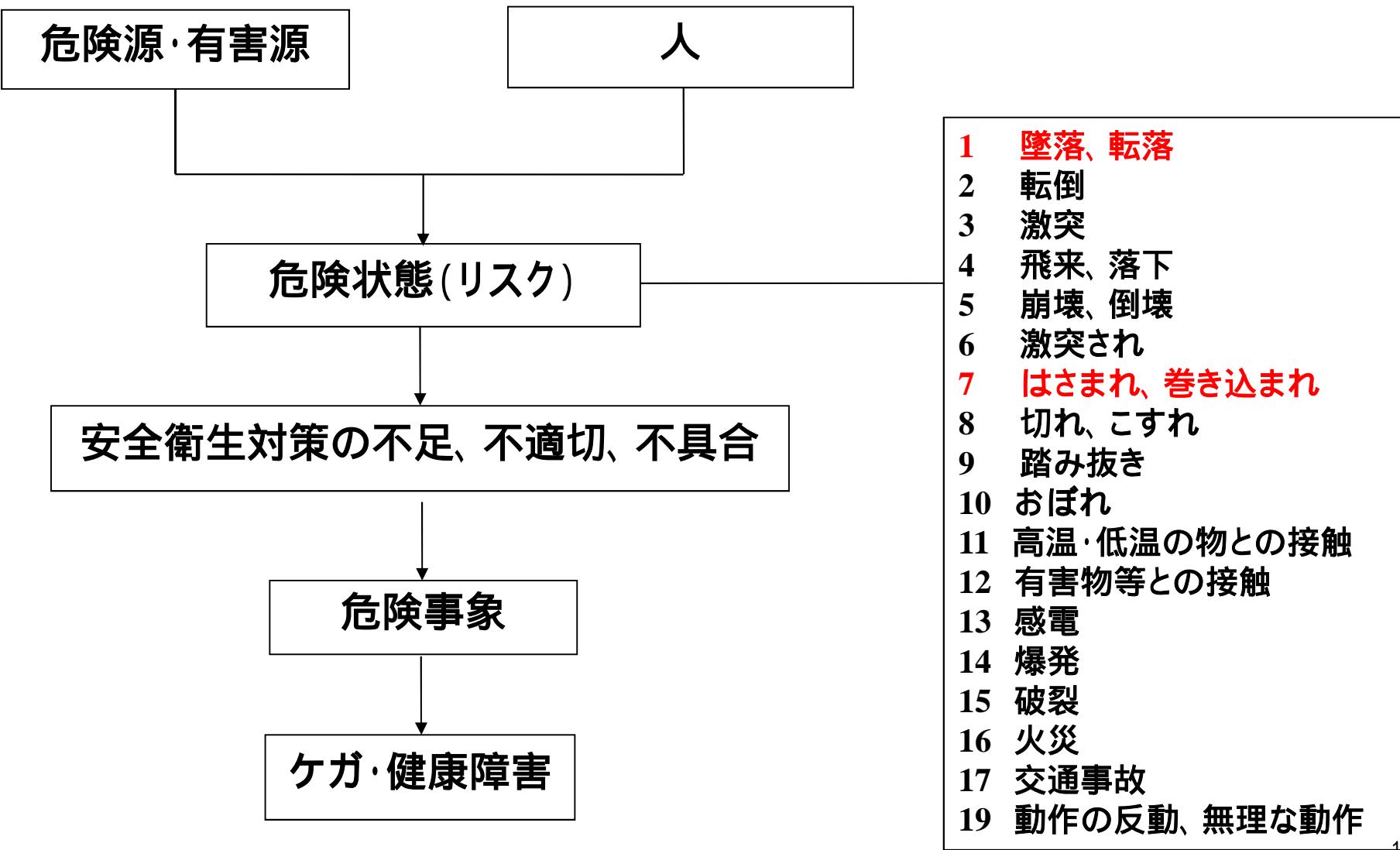
### オ その他の取組

- （ア）安全に係る知識や労働災害防止のノウハウの着実な継承
- （イ）外部の専門機関、労働安全コンサルタントを活用した安全衛生水準の充実
- （ウ）策定予定の「テレワークの適切な導入及び実施の推進のためのガイドライン」に基づく、安全衛生に配慮したテレワークの実施

# 本日の内容

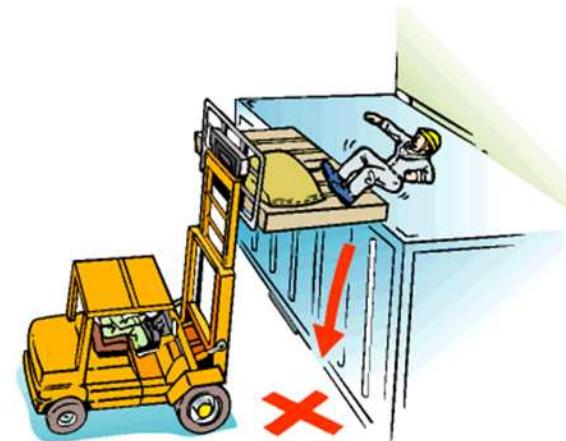
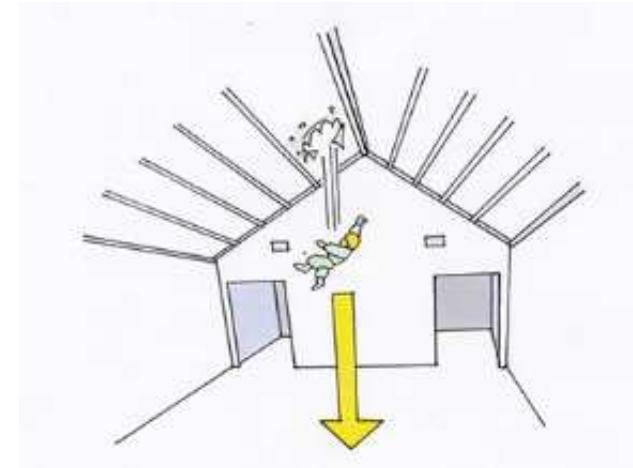
- 1 労働災害発生状況について
- 2 全国安全週間の実施について
- 3 安全衛生管理の強化について  
～職場総点検の実施の着目点～

# 労働災害に至るプロセス



# 墜落・転落の災害事例

事故の型	起因物	災害の概要
墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	工場トタン屋根部分の雨漏り箇所の補修に使用する波板を補修場所まで運ぶ作業をしていたところ、トタン屋根部分からスレート屋根部分に乗ってしまい、スレート部分のプラスチック製の波板を踏み抜き、高さ約4.4mの位置からコンクリート床に墜落した。
墜落、転落	フォークリフト	運転席が上下するリーチ式フォークリフトを用いてパレットを約3メートルの高さまで上昇させ、パレット又は運転席の上で作業をしていたところ墜落した。

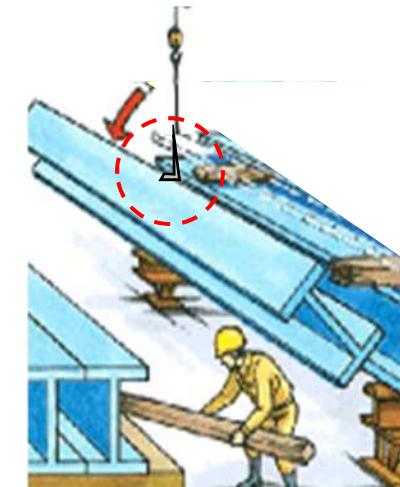


# はまれ・巻き込まれ 災害事例

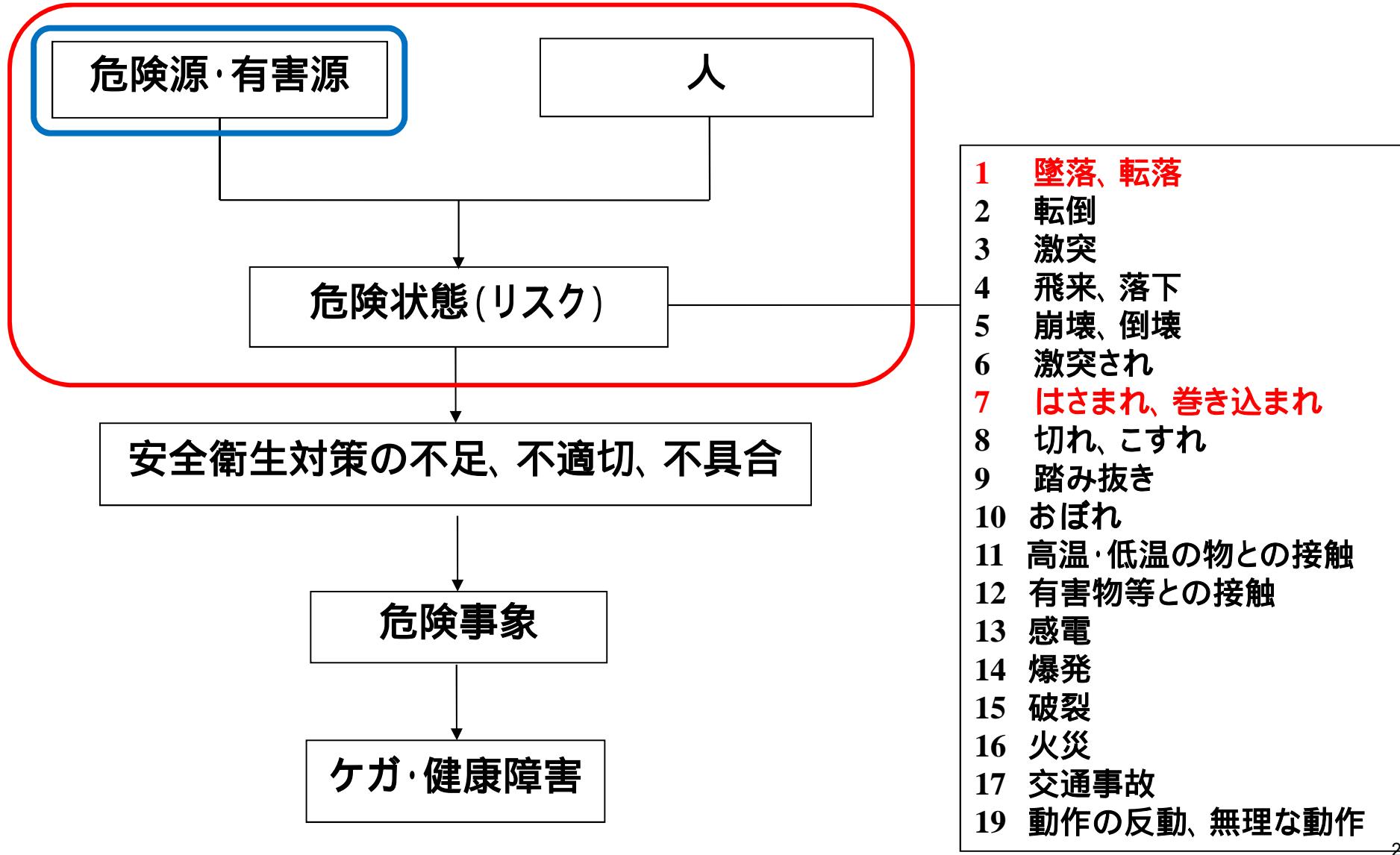
事故の型	起因物	災害の概要
はまれ、巻き込まれ	旋盤	NC旋盤の保護扉を開けた状態で研磨作業をしていたところ、回転軸に巻き込まれた。
はまれ、巻き込まれ	フォークリフト	フォークリフトのマスト部の修理作業中、身体がティルトレバーに触れ、後傾したマストとヘッドガードの間に頭部をはまれた。



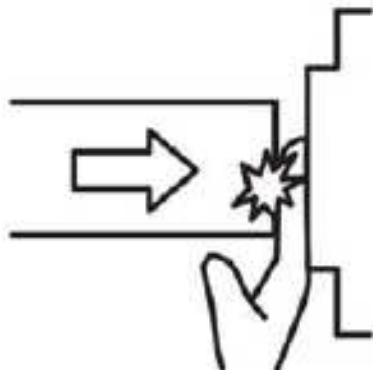
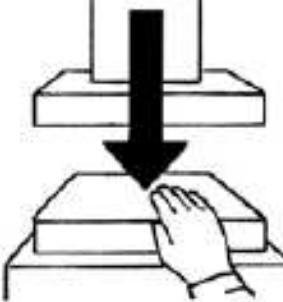
事故の型	起因物	災害の概要
崩壊、倒壊	荷姿の物	<p>2段積みにされていたフレコンバッグ 重(量1トン)の1段目のフレコンバッグの側面に、フォークリフトのフォークもしくはパレットの角で傷をつけてしまい、内容物が流出したため補修作業を行っていたところ、2段目のフレコンバッグが崩落し、被災者が下敷きになった。</p>
崩壊、倒壊	玉掛用具	<p>橋形クレーン(吊り上げ荷重約2.8t)でH形鋼(約0.6t)を所定の位置に運搬し、玉掛用具のハッカーを外した後、クレーンの巻き上げ操作をしたところ、ハッカーが同H形鋼の上フランジに引っ掛かり、同H形鋼が倒れ、下敷きとなった。</p>



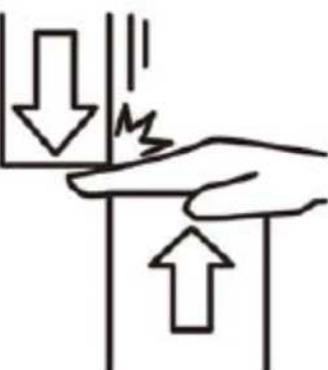
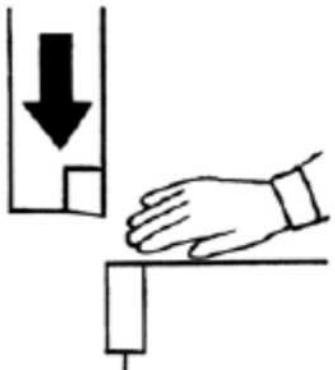
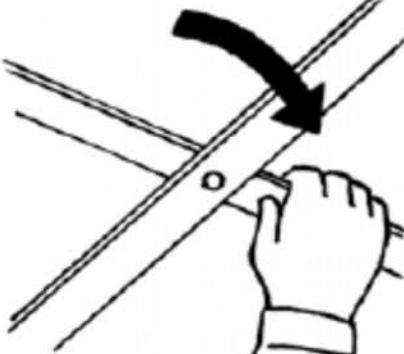
# 総点検の着目点



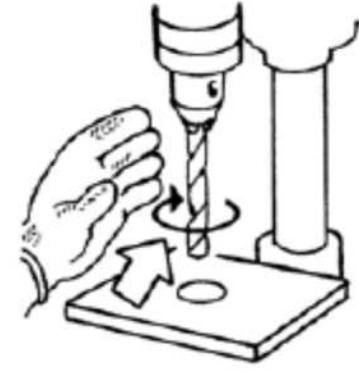
## 押しつぶしの危険源

基本図	具体例
	  

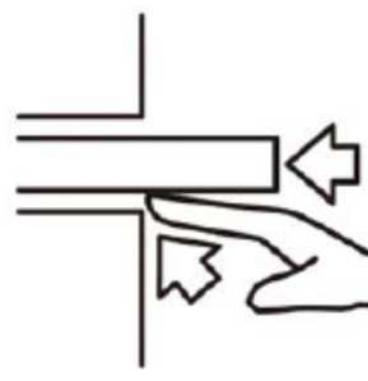
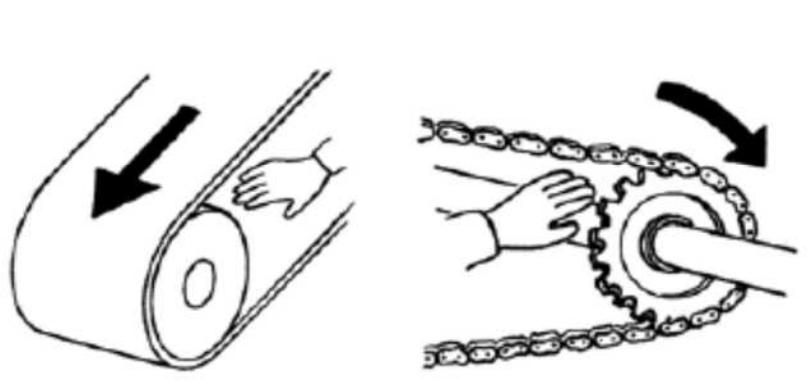
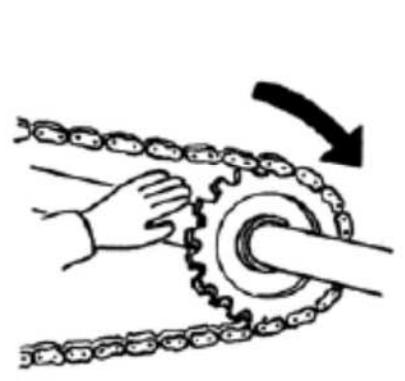
## せん断の危険源

基本図	具体例
	  

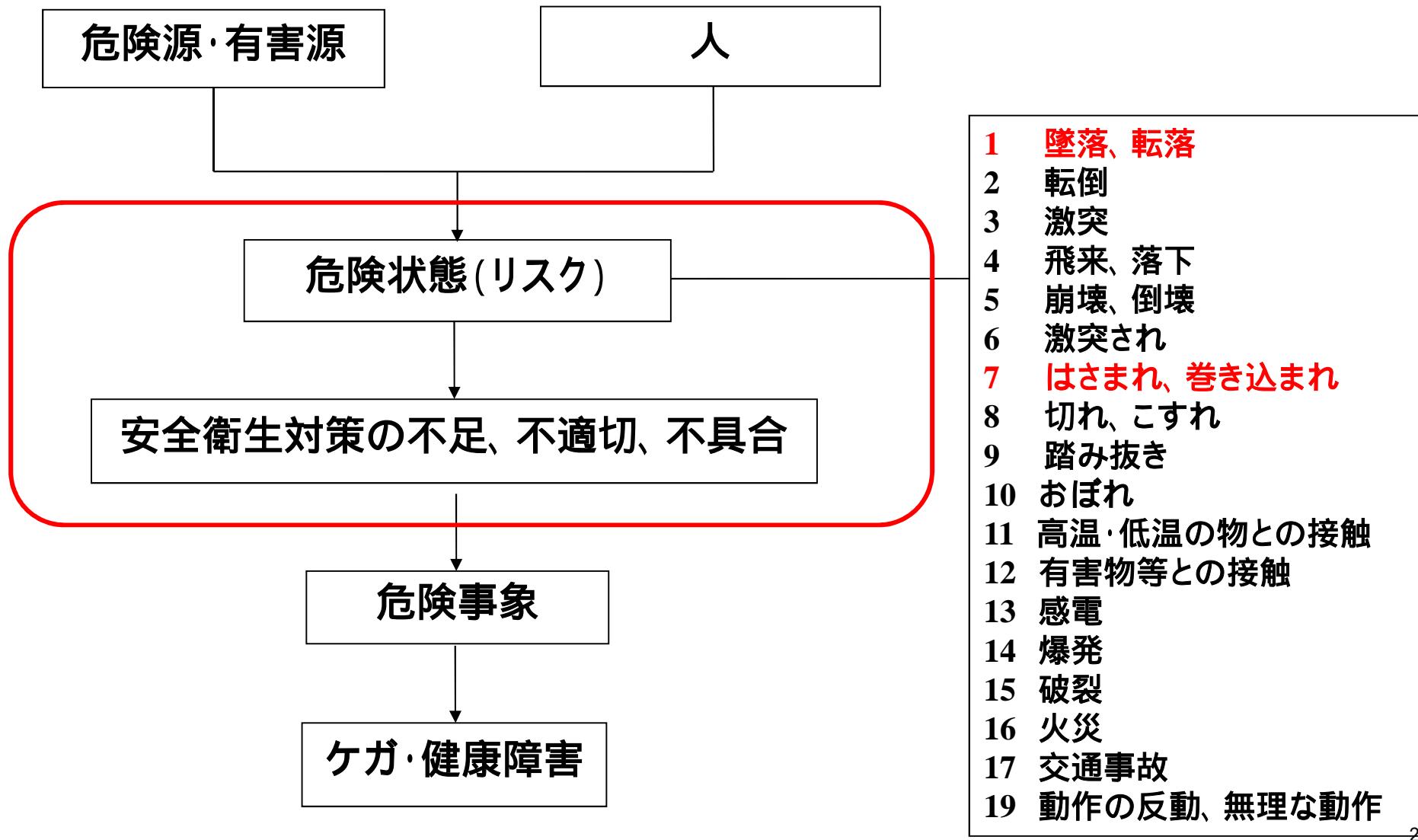
## 巻き込みの危険源

基本図	具体例
	 

## 引き込み又は捕捉の危険源

基本図	具体例
	  

# 総点検の着目点

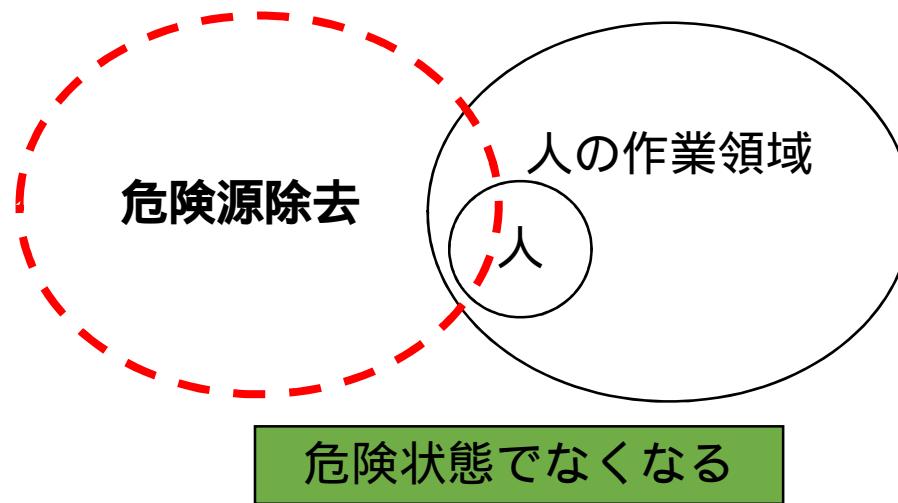
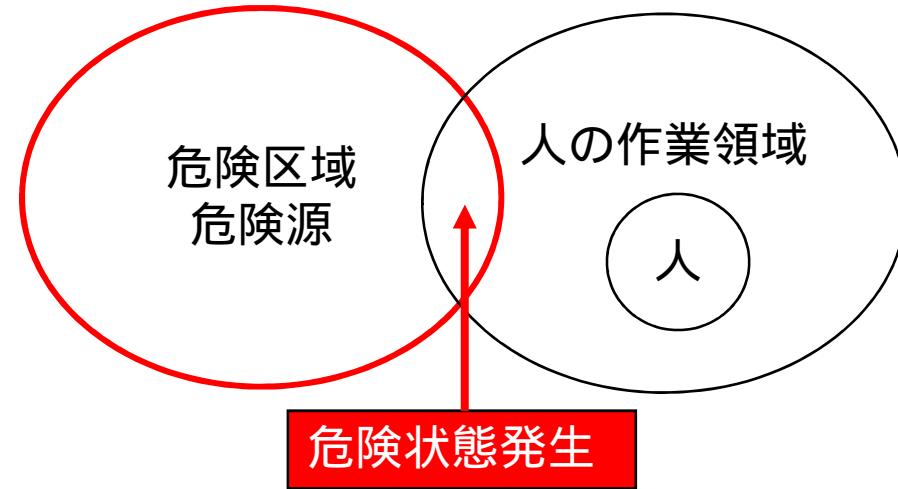


# 災害防止対策

## (1) 本質安全化 危険源を除去する

(例)

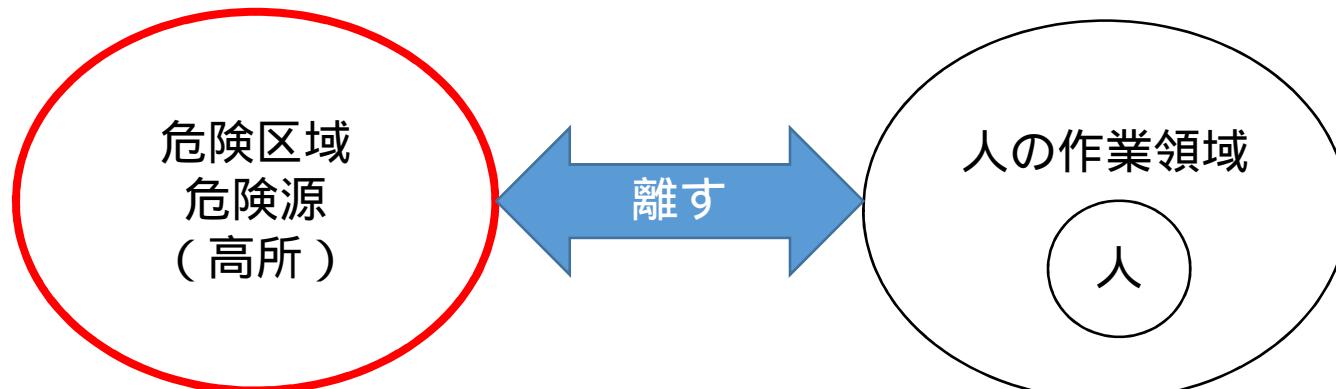
- ・高所作業をなくす
- ・開口部をなくす
- ・段差、凹凸をなくす
- ・はい積みをなくす
- ・ものの置き方の改善



## 危険区域に入る必然性の低減

(例)

- ・高所で作業を行わず、地上で行う
- ・作業の自動化、遠隔化

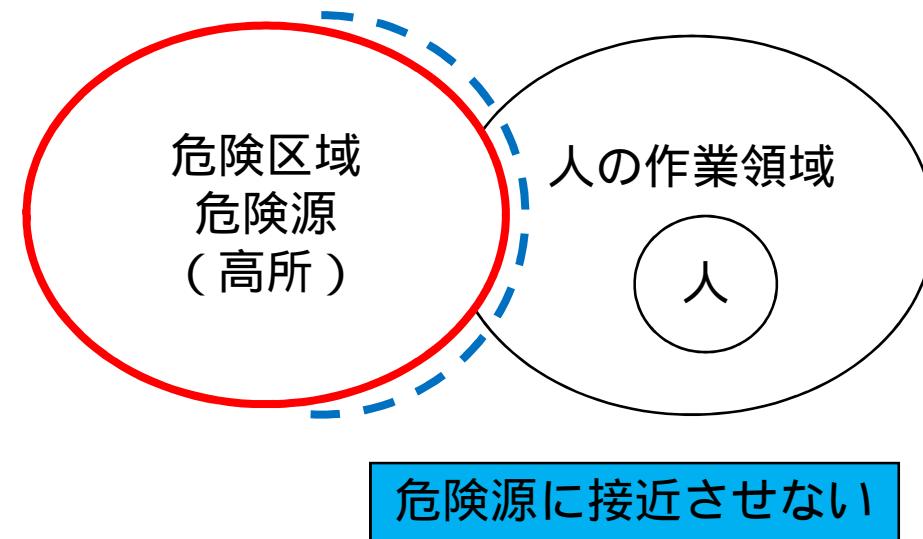


## (2) 危険源の隔離と停止

### 隔離の原則

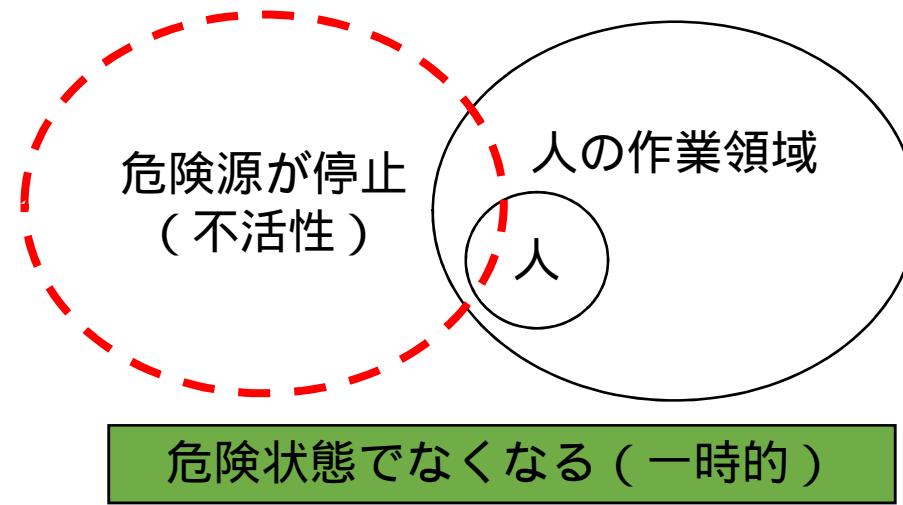
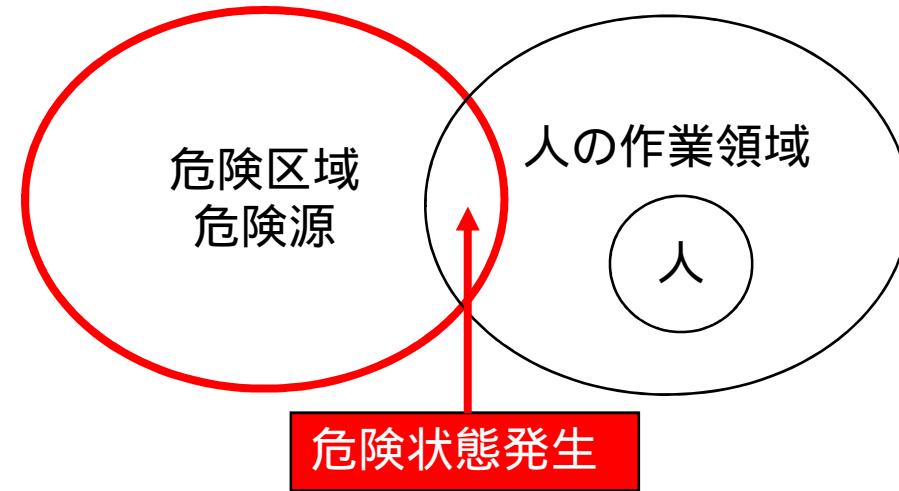
(例)

- ・十分な高さの手すりを設置する
- ・立ち入り禁止柵を設ける
- ・安全カバーを設置する



## ( 2 ) 危険源の隔離と停止

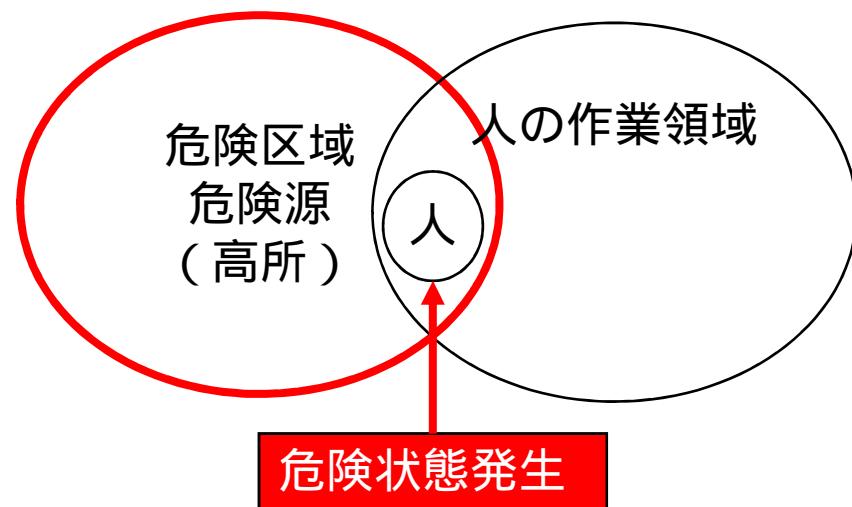
### 停止の原則



### (3) 保護具等の使用(墜落・転落災害対策)

例) 墜落制止用器具(安全帯)を用いる

安全ネットを設ける



安全衛生対策の実施

## 度数率 1 時代の安全管理の難しさ

- 製造業では、「度数率 1 」程度つまり、従業員 500 人の事業場で、年間 1 件の災害（100 万時間で 1 件）
- 「自社の災害から学ぶ安全管理」（災害原因の究明 対策の充実）はできない
- 災害件数だけで安全水準の評価はできない

# 災害ゼロの種類（災害ゼロと危険ゼロ）

災害ゼロ

災害ゼロ

運のいい災害ゼロ

真の災害ゼロ

潜在的な危険有害  
要因の存在

危険有害要因が排除  
されている



災害発生の可能性  
が高い



災害発生の可能性  
が最小

**有意義な安全週間を。  
ご安全に。**